

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |                               |
|---------------|-------------------------------|
| 事業名           | 「信州山の日」おたり真夏の雪まつり             |
| 事業主体<br>(連絡先) | 一般社団法人小谷村観光連盟<br>0261-82-2233 |
| 事業区分          | (6) ア 特色ある観光地づくり              |
| 事業タイプ         | ソフト・ハード                       |
| 総事業費          | 5,700,810円                    |

事業内容

雪まつりの開催

- ・地域の特色である豊富な雪を夏の観光に取入れ誘客につながった。

1 雪の滑り台を使つての雪遊び

会場の広場に幅30M長さ50mほどのゲレンデを制作。

2 ステージイベントの開催

太鼓・民謡など郷土芸能や小学生のダンスパフォーマンス餅つき 出展者PRなどのイベントを開催

3 もてなし

姉妹都市、村内の有志による特産の販売やプレゼントの開催 【 雪のゲレンデの様子 】

4 梅池自然園写真展

- ・昨年の入選写真60点の展示をして梅池自然園の四季の魅力に来場者にPRした。



(活動写真)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①梅池自然園の入園者増

H25年7月4週日曜日 1,081名  
H26年7月27日(日) 861名 79.6%  
当日朝の大雨のために入場者減となった。

②イベント来場者目標

イベント来場者目標数 3,000名⇒ 実績 2,300名  
当日朝の大雨のために入場者減となった。

③イベント告知にFM長野を利用することにより広域的に小谷村をPRすることができた。

④子供に雪の体験をさせたい親が予想以上に多く雪に触らせることにより冬のスキー場にも来て見ようと言う親子が多かった。

【目標・ねらい】

- ①梅池自然園の入園者増
- ②イベント来場者目標 3,000名
- ③広域的なPR
- ④再来村

※自己評価【C】

【理由】

当日朝からの大雨にもかかわらず伊那方面など遠くから大勢のお客様に来場いただけた。  
また、村民も夏に雪にふれることができ、観光素材としての価値について考えをあらたにすることができた。次年度2日開催の検討。

今後の取り組み

今年度、雪の保存方法が分かったので、次年度は土日2日間のイベントを開催し多くのお客様に雪と触れ合う機会を作り冬シーズンの来村の動機につなげていく。

また、保存した雪をもって都市圏などに雪を持って、夏休みの誘客へつなげる雪プレゼント事業を実施する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。しゅう  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある